



津波に襲われる下田湾（モジャイスキー画）
（ロシア海軍中央博物館所蔵）

日本の開港というペリー率いるアメリカとの条約交渉が有名ですが、これに続いて様々な国が国交を結ぶべく日本を訪れています。中でもロシアは早い時期から条約交渉を始めていましたが、その道りは困難の連続でした。ペリーが去ったわずかの数か月後、ロシア公使であるプチャーチンは、下田富士の麓にある福泉寺で幕府の役人と会談を開始しますが、この途中で大きな災害に見舞われます。

その後、修理のための回航中にディアナ号は駿河湾内で沈没しましたが、乗組員は救出されます。代船として、日露共同による日本初の洋式船が建造され、沼津の戸田村で造られたことから、「ヘダ号」と呼ばれました。

津波とディアナ号の沈没
1854年12月23日朝、南海トラフの東側を震源とする「安政東海地震」が発生し、下田をはじめとする沿岸部に大きな津波が襲いました。中でも海に近い下田町内の被害は甚大で、千軒近くあった住居のうち被害を免れたのはわずかに十軒のみ、また、了仙寺の本堂には、この時流されてきた船がぶつかったとされる傷が今も残っています。ロシアの軍艦ディアナ号も被害を受け死傷者も出ますが、そのような状況下にあっても、下田の町民の救助や救護への協力を申し出ています。

一方、この間も条約交渉を続けていたプチャーチンは、1855年の2月7日、日露和親条約を長楽寺で締結し、目的を果たします。任務を終えた一行ですが、新造されたヘダ号だけでは全員が乗り切れないため、分散して帰国の途に着きます。しかし、帰るために雇った船は、当時敵対していたイギリスに途中で拿捕され、ヘダ号に乗船したプチャーチンも、ロシアで陸路を何百キロも歩き、ようやく首都のペテルブルグに着いたのは約半年後のことでした。

波乱に満ちたロシアの条約交渉ですが、その舞台となった下田では日本人との交流もありました。安政東海地震の津波で被災したロシア兵の墓が建てられた玉泉寺や、彼らが出航したロシアの港の名にちなんだ、まどが浜海遊公園の「クローンシュタット広場」などでは、日露交流の歴史を今に見ることが出来ます。

開国のカケラを集めて

北の黒船来航

下田開港170周年記念事業

津波とディアナ号の沈没

帰国への長い旅路

下田開港 170 周年記念事業

Sea & Rainbow we are Shimodakids

子ども達が気軽にスポーツ・文化活動にふれあい、興味を持てるよう、まどが浜海遊公園を利用し、習い事の団体が集まって、日頃の練習の成果を発表します。習い事によっては体験会も行われます。地元屋台も並ぶので、芝生で1日くつろぎながら親子で参加することができます。

日時 10月26日（土）10時30分～15時
※雨天順延（27日（日）※27日が雨天の場合は中止）
場所 まどが浜海遊公園
駐車場 まどが浜海遊公園駐車場・安田造船所臨時駐車場
※駐車台数には限りがあります。
問合せ先 生涯学習課社会教育係（中央公民館） ☎ 5055



市ホームページ QRコード

詳細は、右記QRコードから市ホームページをご覧ください。

防災かわら版

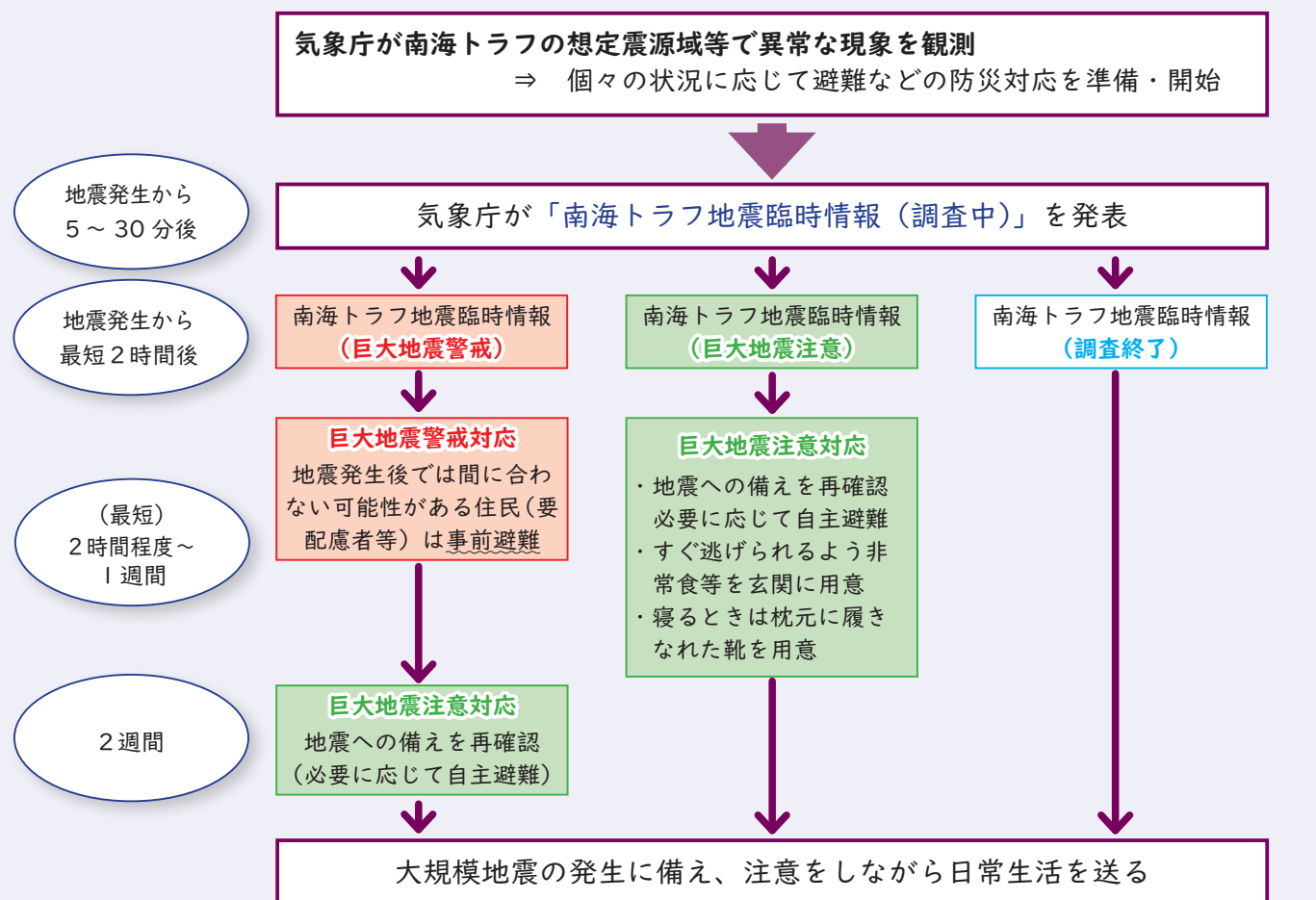
問合せ先 防災安全課防災係（河内庁舎2階） ☎ 364145

「南海トラフ地震臨時情報」とは？

南海トラフ沿いの想定震源域内で大規模地震や地殻変動などの異常な現象を観測した場合には、気象庁から以下の「臨時情報」が発表されます。

発表内容	発表条件
調査中	・観測された異常な現象が、南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、又は調査を継続している場合
巨大地震警戒	・南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において、M8.0以上の地震が発生したと評価した場合
巨大地震注意	・南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において、M7.0以上、M8.0未満の地震が発生したと評価した場合 ・想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲でM7.0以上の地震が発生したと評価した場合 ・ひずみ計などで有意な変化として捉えられる、短い時間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような、通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合
調査終了	・巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

「南海トラフ地震臨時情報」が発表されたらどうするの？



【同報無線による放送を聞き逃した皆さまへ】

同報無線放送後 24 時間以内であれば、放送内容を自動音声により確認できます（通話料金がかかります）。
電話番号 ☎ 3866